

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ジャパンカップはアーモンドアイがレコードV

11月25日(日)に行われたジャパンカップ(G I)では単勝オッズ1.4倍の断然人気に支持されたアーモンドアイ(牝3歳/美浦・国枝栄厩舎)が優勝しました。アーモンドアイは桜花賞、オークス、秋華賞と合わせてG I年間4勝となり、これは史上8頭目、牝馬としてはジェンティルドンナに次ぐ2頭目の記録。3歳牝馬によるジャパンカップ制覇も2012年のジェンティルドンナ以来、史上2頭目のこと。勝ちタイム2分20秒6は、2005年ジャパンカップでアルカセットが記録した2分22秒1を1秒5更新する芝2400mの日本レコードとなりました。また鞍上のクリストフルメール騎手(栗東・フリー)はJRAのG I/Jpn I年間8勝目となり、自身がJBCスプリントで記録した年間7勝の最多勝記録をさらに伸ばしています。

●2018年ロンジンワールドベストジョッキーはデットーリ騎手

国際競馬統括機関連盟(IFHA)から、2018年ロンジンワールドベストジョッキーが発表され、ランフランコ・デットーリ騎手が2015年に続いて2度目の栄冠に輝きました。デットーリ騎手は今年、エネイブルとのコンビで凱旋門賞(仏G I)やブリーダーズCターフ(米G I)を制するなど、世界のトップ100 G Iレースを計8勝し、第2位のオイシン・マーフィー騎手(ドバイターフ、エクリプスSなど7勝)、第3位のライアン・ムーア騎手(ダイヤモンドジュビリーS、ジュライCなど6勝)を抑えてのタイトル獲得となりました。なおJRA所属騎手ではクリストフルメール騎手(安田記念、天皇賞・秋、ジャパンカップの3勝)の第10位が最高位でした。

●有馬記念の枠順公開抽選をテレビ中継

12月23日(祝・日)に開催される有馬記念(G I)は、前年に引き続き都内ホテルに厩舎関係者が一堂に会し、公開抽選によって枠順(馬番)が決定されます。なお枠順公開抽選の様子は、12月20日(木)の17時から18時30分まで、BSフジにて生中継される予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●オールブラッシュが浦和記念(浦和)で1年10か月ぶりの勝利

浦和記念(Jpn II、11月23日、浦和、2000m)は、6番手から3コーナー過ぎに一気に先頭を奪った4番人気のオールブラッシュ(田辺裕信騎手、牡6歳、父ウオーエンブレム)が、単勝1.4倍で圧倒的人気のグリムに4馬身差を付けて快勝。3番人気のクリソライトが3着、2番人気のアポロケンタッキーが4着に入り、4頭出走したJRA所属馬が上位を独占しました。

●兵庫ジュニアグランプリはデルマルーヴルが4馬身差で楽勝

兵庫ジュニアグランプリ(Jpn II、2歳、11月28日、園田、1400m)は、中団から差を詰めた1番人気のデルマルーヴル(クリストフルメール騎手、牡、父パイロ)が直線半ばで差し切りました。2番人気のオルトグラフが2着、3番人気のデンバーテソーロが3着に入り、イックールは6着、シングルアップは7着でした。

●兼六園ジュニアCはアイオブザタイガー【各地の主要2歳重賞】

兼六園ジュニアC(11月20日、金沢、1500m)は、逃げた北海道からの移籍馬アイオブザタイガー(牡、父スマートファルコン)が後続を6馬身引き離し、単勝1.3倍の支持に応えました。黒潮ジュニアチャンピオンシップ(11月18日、高知、1400m)は、後方から追い上げた1番人気のアルネゴー(牡、父ローレルゲレイロ)が4コーナーで先頭に立ち、そのまま押し切っています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G I クラークH~レオフリックがG I 初制覇

11月23日に米国ケンタッキー州のチャーチルダウンズ競馬場で行われたG I クラークH(3歳上、ダート9f)は、F.ジェルー騎手騎乗のレオフリック(牡5歳、父キャンディライド、B.コックス調教師)が今年のG I プリークネスS 2着馬ブラヴァーズをクビ差退けて優勝。G I 初制覇を果たしました。レオフリックは9月のG I ウッドワードSは日本産馬ヨシダの3着でしたが、続く10月の前走G 2 フェイエットS(ダート9f)を制していました。

●米国の名手ゲイリー・スティーヴンス騎手が引退

1990、98年の米チャンピオンジョッキーで、米国競馬の殿堂入りも果たしているゲイリー・スティーヴンス騎手(55歳)が11月20日に現役引退を発表しました。17日のデルマー開催で、レース後に脊椎を傷めたことによるものです。スティーヴンス騎手は北米通算5187勝。米三冠レースは、ウイニングカラーズ(1988年)、サンダーガルト(1995年)、シルバーチャーム(1997年)と3度制したG I ケンタッキーダービーを含む9勝。ブリーダーズCもムーチョマッコマン(2013年)で制したクラシック、ビホルダー(2016年)で勝ったディスタフなど11勝。1991年にはジャパンカップをゴールデンフェザントで制しています。